

スマート農業技術の活用の促進

スマート農業を導入している農業者等と意見交換を実施して、スマート農業技術の導入経緯、効果等を収集し、スマート農業の活用等の事例として拠点HPで情報発信

○ 施策分類

普及・技術対策

○ きっかけ・背景、課題の把握

基幹的農業従事者数の減少や高齢化の進行等により労働力不足が深刻な問題となっており、人手に頼る作業や熟練者でなければできない作業が多い現場においては、省力化、人手の確保、負担の軽減が重要な課題となっている。農業者の減少が続く状況下において生産水準が維持できる生産性の高い食料安定供給体制を確立するためには、農作業の効率化等に資するスマート農業技術の活用と併せて生産方式の転換を進めるとともに、スマート農業技術等の開発・普及を図り、活用を促進する必要がある。

○ 取組の内容

スマート農業を導入している法人、農業者等と意見交換を行い、スマート農業技術の導入の経緯や効果等を把握。人手の確保、負担の軽減及び農作業の効率化等に資するスマート農業技術の事例として整理し、情報発信を行うこととした。

○ 効果・成果、今後の方向性

関東農政局山梨県拠点HPに「スマート農業に取り組む農業者」事例として情報発信を行うことができた。今後、関係機関との各種会議や農業者等との意見交換などで周知を行い、取組の拡大につながることを目指すとともに、スマート農業技術の開発及び活用両面から、情報収集や意見交換を継続し、生産方式革新実施計画の策定につなげていきたい。



関東農政局山梨県拠点HP

体制図

